

就任インタビュー



事業管理者 **はせがわ なおゆき**
長谷部 直幸

略歴

H19.6 旭川医科大学 内科学講座 循環・呼吸・
神経病態内科学分野 教授
R3.4～ 旭川医科大学 名誉教授
R4.4～ 江別市病院事業管理者

資格

日本内科学会総合内科専門医・指導医
日本循環器学会循環器専門医
日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医など多数

趣味など

スイーツ。エレベーターを使わないこと。
江別市内のスイーツはとても楽しみです。

4月から地方公営企業法全部適用へ移行した市立病院の病院事業管理者に就任した長谷部直幸医師に、今後の展望について伺いました。

―前職での取り組みを教えてください―

私は長年、旭川医科大学において、循環器・腎臓・呼吸器・神経という、いずれも命に関わる領域に携わり、「一人と知識と技術が生き生きと動く教室」「元気の出る教室」をモットーに、総合力を兼ね備えた専門医の育成と地域医療の充実に取り組んできました。また、健康長寿の基本は血圧管理ですから、高血圧の撲滅にも力を注いできました。

―全部適用への移行で病院は何か変わりますか―

今まで市長が担ってきた病院の管理運営を、専任の事業管理者が行うこととなります。事業管理者は、「組織作り」「職員の採用」「予算案の作成」などの権限を持ちます。

その職を、現場（病院）にいる私が担い、医師として培ったさまざまな経験を活かして現場で直接対応ができる

ため、改善や決定のプロセスを、これまでより迅速かつ柔軟に実行できるものと考えています。

なお、医療の提供・運営は、引き続き富山院長を中心に行いますので、院長と手を携えて経営再建に取り組んでまいります。

―どのようなことに重点を置いて取り組みますか―

経営再建を進めるために、まず、医師の招聘に重点的に取り組まなければなりません。

これまでも北海道大学および札幌医科大学からは、医師を派遣いただいています。この関係をさらに強く太くしていく必要があります。

一方で、昔のように一つの医局で複数の専門科を抱えることは難しい状況です。新しい方法も柔軟に取り入れていかなければなりません。医療従事者の育成や医療の研究のために新たに設置した「未来医療創造基金」の有効活用と持続的な拡充策の検討も重要な課題と考えています。

また、経営再建は、医師招聘だけでは成し得ません。

再建を成し遂げるためには、全職員の英知と情熱を結集して成し遂げようとする姿勢が不可欠であると考えています。

令和2～3年度は、院内での機運が高まり、もの忘れ外来の設置、健診センターの活用、乳がん啓発などさまざまなプロジェクトが進められたと聞いています。

こういった取り組みをさらに推進するためにも、私は、「病院で働くスタッフの元気が出る組織作り」を目指します。その中で、職員のやる気を引き出すために、例えば専門資格取得の支援や自己研鑽への援助など、新たなインセンティブ（動機付け）の仕組みを考えています。

―市民へのメッセージをお願いします―

市立病院は、院長が中心となりコロナ禍における対応を懸命に行っていました。

こうした公的病院としての役割を果たすため、市民の皆さまに信頼していただける病院を目指し、経営再建、そして、安心・安全な医療の提供に努めてまいりますので、ぜひ応援をよろしくお願いします。

ワクチン接種は任意です



新型コロナワクチン接種は強制ではありません。接種後に予想される副反応と、得られると期待される効果をよく考え、ワクチン接種をするかどうかを決定してください。

【予想される副反応】

3回目の接種後、7日以内の副反応はファイザー社製、武田 / モデルナ社製のどちらにも、概ね1、2回目と同様の症状が見られます。

【期待される効果】

3回目の接種をした人の方が、3回目の接種をしていない人よりも新型コロナウイルスに感染、重症化するリスクが低くなると報告されています。

3回目接種率

令和4年4月15日(金)現在、市内の3回目接種率は47.0%です。

ワクチンの予約 / お問い合わせ先

■ インターネット予約

市のホームページ(右のQRコード)から予約してください。
※アクセスが集中すると、つながりにくくなる場合があります。



■ 電話予約 / 予約のお問い合わせ

江別市新型コロナワクチンコールセンター

☎ 011-600-1234 (8:45 ~ 17:15)

※ 土日、祝日も受け付けています。

■ 副反応などに関するお問い合わせ

北海道専門相談ダイヤル

☎ 0120-306-154 (9:00 ~ 17:30)

※ 土日、祝日も受け付けています。

■ 接種券発送などに関するお問い合わせ

新型コロナウイルス感染症対策室

☎ 011-385-8910



新型コロナ ワクチン 最新情報

※ 掲載内容は後から変更される場合があります

12歳〜17歳の追加(3回目)接種

新型コロナワクチンについて、12歳〜17歳の方も3回目の追加接種ができるようになりました。

3回目接種ができるのは、2回目を接種した日から6か月を経過した日以降です。

なお、接種する日に16歳未満の方は、保護者の同意と、接種会場には、原則として保護者の同伴が必要です。

接種券の発送

接種券は、2回目を接種した日から6か月経過した方を対象に、4月下旬から順次発送しています。

6か月経過後、1週間経つ

てもお手元に接種券が届かない場合は、市の新型コロナウィルス感染症対策室(385-8910)までお問い合わせください。

ワクチンの種類と接種量

ワクチンはメッセンジャーRNAワクチンを使用します。なお、12歳〜17歳の3回目接種で使用するワクチンは、ファイザー社製のみとなります。接種量は1、2回目と同量の0.3mlです。

※ 1、2回目のワクチン接種をファイザー社製、モデルナ社製のどちらを接種した場合でも、12歳〜17歳の方の3回

目接種は、ファイザー社製ワクチンを使用します。

12歳〜17歳の方の接種会場

● ファイザー社製ワクチンを取り扱う市内医療機関(病院、クリニック)

● 集団接種会場 青年センター(5月28日(土)、29日(日))

※ 3回目接種を実施する病院などの詳細は、市ホームページでご確認ください。



▼ 4回目のワクチン接種

国において、4回目接種の検討が進められています。対象者や時期については、決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。

5歳〜11歳(小児)の接種

- ・ 接種には保護者の同意が必要です。
- ・ 接種会場には、原則、保護者の同伴が必要です。
- ・ 努力義務の規定は、適用されません。

※ 「努力義務」とは、「予防接種を受けるよう努めなければならない」という予防接種法上の規定のことです。

【接種予約】

クリニック、病院：各医療機関の予約方法に沿ってご予約ください。
集団接種会場：WEB予約と電話予約を受け付けています。

【接種会場】

市内の小児科クリニック、市立病院(小児科)
※ 準備が整った医療機関から順次開始しています。
接種できる医療機関は、市ホームページなどでご確認ください。



【集団接種会場】

市民会館で開設する予定です。
・ 5/28(土)【2回目は6/18(土)】、5/29(日)【2回目は6/19(日)】
※ 2回目接種日の変更はできませんので、必ず2回目の日程を確認のうえ、予約してください。